

保健室

伊豆市は、伊豆半島の中央部に位置し、天城山系の山並みに囲まれ、街の中央には狩野川が流れ、駿河湾にも面しています。その特徴的な地形から豊かな森林と清らかな水に恵まれ、わさびの栽培で有名です。

本校は自然豊かな伊豆市の中伊豆地区にあります。創立六十二年を迎え、3学年合計5クラスの生徒は110名の小規模校です。生徒たちは、明るく素直な子供らしさがあり、温かな関わりがもてる反面、小規模校であるが故に、小学校から固定された人間関係に悩む生徒もいます。不登校や様々な課題を抱えた生徒も多く、養護教諭

本校は、JR藤枝駅を中心とした繁華街とその周辺の住宅地を学区にもつ、全校児童945名の小学校です。養護教諭は複数配置されています。正門南側の道路には、旧東海道の名残を留める松並木が見られます。校歌は、明治38年、国文学者中村秋香により作詞・作曲され、校訓「誠実」は校歌に歌われる「明き心」(正直で素直な明るい心)に由来しています。令和2年度には創立130周年を迎え、歴史ある学校です。

今年度の本校の重点目標は「楽しく学び、すずんで表現」です。すべての活動の場で意識して日々の教育活動に取り組んでいます。登下校時に交わすあいさつ、元気に運動場で遊ぶ姿、

として、その生徒や保護者との関わりを大切にしています。また、担任の先生方との連携も大切にしています。情報共有をする時間をしっかりと確保して、課題解決方法を探り、関わりを深めています。

伊豆市では少子化、人口減少に伴い、生徒数



縮めず、最後までやり抜く力をつけることを目標としています。また、人との関わりを大切にできる子を育てたいという願いから「人にやさしく」を合い言葉に教育活動に励んでいます。

本校の保健教育は、「自ら進んで心身ともに健康や安全な生活の自立を目指し、自他を大切に」

身体計測、なんとなく等々々理由で来室します。その来室者の中で特に、けがの状態や体調を自分で説明できなかつたり、非常に繊細で予期せぬ出来事が起こったときの対応が上手にできず、心身が不安定となり体調を崩したり、黙ってしまつたり



授業で見せる真剣な表情等、日々の生活の中で相手の気持ちに寄り添ったかわりが息づいています。

本校は大規模校のため、休憩時間、授業中関係なく多数の子どもが様々な理由で来室します。けがの手当や体調不良を訴える子、付き添い人、委員会活動、

が減少し、令和7年度に修善寺中、天城中、中伊豆中を統合した新しい「伊豆中学校」が誕生します。

令和6年度、最後の一年となった本校の学校教育目標は「夢を叶える」です。そして、校訓は「努力は必ず報われる」です。誰もが夢をもち、粘り強く、

立を目指し、自他を大切に」

として、日々の保健活動は生徒による厚生委員会を中心に進めています。「身の回りを清潔に保ち、みんなが快適に過ごせる学校を目指そう」と委員会目標をもとに、清潔に過ごせる環境をつくる活動をしています。そして、与

えられた役割を自分から進んで果たすことで、責任感や自己肯定感を育めるような声かけを心がけています。

本校は毎年、年2回性に関する指導を行っています。伊豆市の養護教諭の研修では「いじめや差別をなくし、人権感覚が育つてほしい」

らえ、自分だったら、どうするか、思慮を巡らせられる子どもです。自分の症状を自分で伝えるようにするために、来室時に個別にわかるように5W1Hを掲示したり、けが、病気の記録用紙を用いて、丁寧に聞き取ったり、回答に選択肢を与えたりして発達

する子がいるということがとても気になります。このような子どもは藤枝市の養護教諭研修会でも話題によくあがります。本校だけではなく、現代の子どもの姿そのものなのかもしれないと感じています。

保健室としてめざす子どもは、学習したことを自分事として

段階に応じた聞き取りをするように心がけています。また、5年生の保健の授業では、けがの手当の仕方について個人、集団で授業を形成し、保健室に行く前に自分でできることを勉強したり、簡単なけがで困っている人がいた場合、子どもでもできるけがの応急処置を学んだりし

伊豆市立中伊豆中学校

養護教諭 杉山亜希子

藤枝市立青島小学校

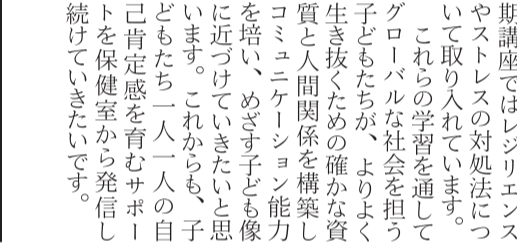
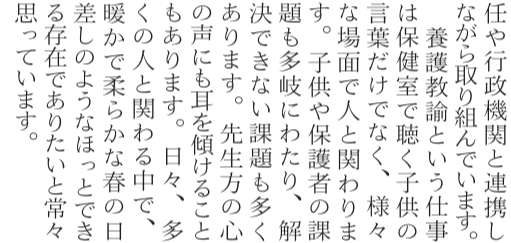
養護教諭 鈴木 教子

という視点から、小中9年間を系統的に見通した性教育の研修を行ってきました。「思いやりの心をもつ、多様性、互いの違いを認め合い、一人一人が大切にされている実感をもつ、自分を大切にし、相手も大切にできる、自尊心を高め、生きる力を子供たちに届けよう」と担

任や行政機関と連携しながら取り組んでいます。養護教諭という仕事は保健室で聴く子供の言葉だけでなく、様々な場面人と関わりまわります。子供や保護者の課題も多岐にわたります。決できない課題も多くあります。先生方の心の声にも耳を傾けることもあります。日々、多くの人と関わる中で、暖かみのある春の日差しのようなほっとできる存在でありたいと常々思っています。

ています。本校の子どもたちは、ピア・サポートの心をもっているため人とのかわりを大事にすることができている子が多いです。しかし、自分の事になると決められない、できない等自己肯定感が低い足踏み状態となる傾向にあります。そこで心を強くするために、

学校保健委員会や思春期講座ではレジュエンスやストレスの対処法について取り入れています。これらの学習を通してグローバルな社会を担う子どもたちが、よりよく生き抜くための確かな資質と人間関係を構築しコミュニケーション能力を培い、めざす子ども像に近づけていきたいと思います。これからは一人一人の自己肯定感を育むサポートを保健室から発信し続けていきたいです。



げんきな事業所

株式会社ジャパン・スリーブ島田プロダクションセンター

島田市大草492-1

【会社紹介】

当社は1968年に株式会社ジャパン・スリーブとして創業し、創業以来「包む」に取り組みでまいりました。かつてのLPレコードジャケット、ペーパースリーブが社名の由来です。主な製品は、CD・DVD、食品・医薬品関係のパッケージとなります。東京・両国に本社を配し、自然豊かな環境で物流拠点としても優れた静岡・島田に生産拠点を設置。

【環境】

工場は自然豊かな環境の中にあります。昼休み、会社前にある大草八幡宮に散歩に出かける方、工場周辺を散歩する方、外に出て仲間とボール蹴りをする方、桜の時期に花見をする方など、自然を感じて過ごすことができます。



リニューアルした食堂

【社内イベント】

「社員が楽しみを持って会社に出社する」「休憩後 午後の時間を頑張れる」「イベントの話題で社員のコミュニケーションが深まる」社員がそんな思いになるように毎月、当社の食堂を利用して、昼休みに社内イベントを実施しています。過去の内容は、クレープ・パン・クッキー・雑貨・クリスマスリース販売など、多くのイベントを実施しました。

会社用のインスタを作り、イベント内容や会社雰囲気を更新していきます。

販売店さんの繋がりが

【社員の健康管理】

社員が健康で安心して働いていくことができるように、定期的に産業医による健康相談を実施しています。専門家に相談することにより、悩みが改善され継続して働いていくことができます。毎月活動している安全衛生委員会では、職場パトロールを実施して労災事故防止・作業環境改善・職場の5S活動を実施しています。



会社全景



地域の方と一緒に草刈りした際の集合写真